

2011年8月10日

平成23年度 第1四半期業績のお知らせ

あいおい生命保険株式会社(社長 石井 義久)の平成23年度第1四半期(平成23年4月1日~平成23年6月30日)の業績をお知らせいたします。

《 契約高 》

個人保険・個人年金の新契約高は2,509億円(前年同期比8.6%増)となり、保有契約高は前年度末比1.9%増加し、以下のとおりとなりました。

個人保険・個人年金保険	6兆4,113億円
総保有契約高(含む団体保険)	8兆8,777億円

《 年換算保険料 》

個人保険・個人年金保険の新契約は28億円(前年同期比23.5%増)となり、保有契約は前年度末比1.5%増加し777億円となりました。

《 当期純損益 》

三井住友海上きらめき生命保険株式会社との合併関連費用8億19百万円の計上等により、当期純損益は7億64百万円の損失となりました。

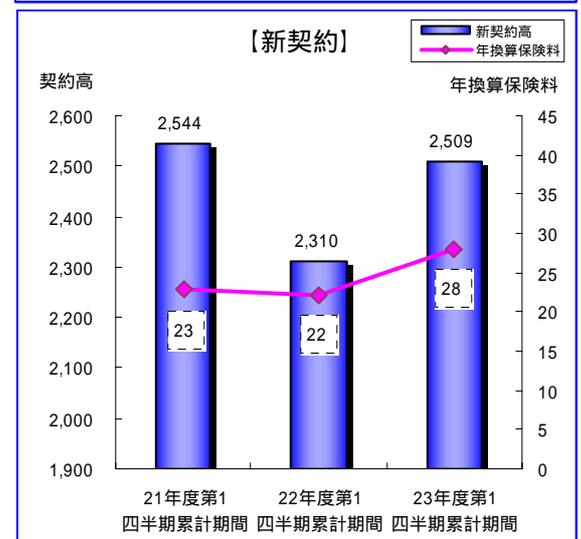
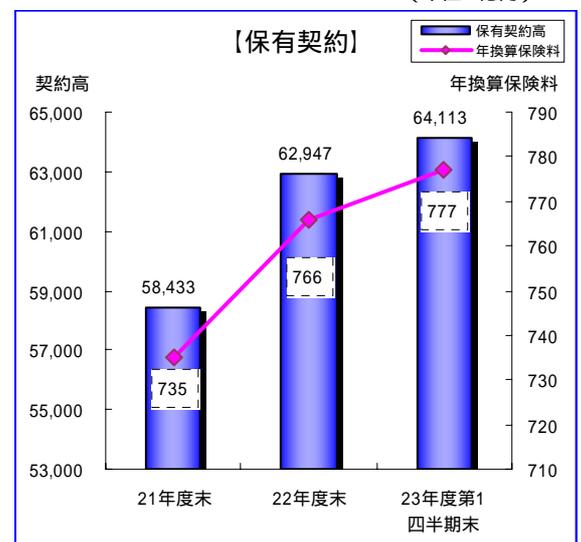
《 ソルベンシー・マージン比率 》

経営の健全性を示す指標であるソルベンシー・マージン比率は、1,868.5%となり、前年度に引き続き高い水準を維持しております。

《 当社の格付け 》 (2011年8月10日現在)

AA 格付投資情報センター(R&I)保険金支払能力格付け

(単位:億円)



本件に関するお問い合わせ先

あいおい生命保険株式会社

企画部 企画グループ長 船木 茂 TEL 03-3273-0140
 経理・財務部 経理グループ長 浅野 志雄 TEL 03-3273-0426



平成23年度 第1四半期業績のお知らせ

< 目 次 >

1. 主要業績	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	2 頁
3. 四半期貸借対照表	4 頁
4. 四半期損益計算書	5 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	7 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	8 頁
7. 特別勘定の状況	10 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	10 頁

（参考）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成23年度第1四半期会計期間末				平成22年度末	
	件 数		金 額		件 数	金 額
		前年度末比		前年度末比		
個人保険	570	102.6	61,013	101.7	556	59,983
個人年金保険	86	103.6	3,099	104.6	83	2,964
団体保険			24,664	101.6		24,285
団体年金保険			4	97.6		4
個人合計(+)	657	102.7	64,113	101.9	640	62,947
個人合計+団体保険(+)			88,777	101.8		87,233

(注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成22年度 第1四半期累計期間				平成23年度 第1四半期累計期間				
	件 数	金 額		件 数	金 額				
		新契約	転換による純増加		前年同期比	前年同期比	新契約	転換による純増加	
個人保険	20	2,219	2,219	22	106.8	2,338	105.4	2,338	
個人年金保険	2	90	90	4	170.9	170	188.8	170	
団体保険		16	16			36	220.4	36	
団体年金保険						0		0	
個人合計(+)	23	2,310	2,310	26	113.3	2,509	108.6	2,509	

(注) 個人年金保険の新契約の金額は年金支払開始時における年金原資です。

(2) 年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成23年度第1四半期会計期間末		平成22年度末	
		前年度末比		
個人保険	60,608	100.8	60,140	
個人年金保険	17,188	103.9	16,539	
合 計	77,797	101.5	76,680	
うち医療保障・生前給付保障等	7,292	100.2	7,280	

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度 第1四半期累計期間	平成23年度 第1四半期累計期間	前年同期比
	個人保険	1,768	1,944
個人年金保険	522	886	169.6
合 計	2,291	2,830	123.5
うち医療保障・生前給付保障等	117	104	88.6

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、

1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成23年度 第1四半期会計期間末		平成22年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	4,598	0.8	5,847	1.1
買 現 先 勘 定	7,297	1.3	11,095	2.0
債券貸借取引支払保証金	23,755	4.3	26,535	4.8
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	491,115	88.3	473,688	86.5
公 社 債	485,885	87.3	470,416	85.9
株 式	303	0.1	300	0.1
外 国 証 券	3,913	0.7	2,971	0.5
公 社 債	3,913	0.7	2,971	0.5
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	1,013	0.2	-	-
貸 付 金	12,929	2.3	12,901	2.4
不 動 産	-	-	-	-
繰 延 税 金 資 産	3,834	0.7	4,620	0.8
そ の 他	12,998	2.3	12,714	2.3
貸 倒 引 当 金	49	0.0	49	0.0
合 計	556,481	100.0	547,354	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	3,924	0.7	2,971	0.5

（注）「不動産」は土地・建物・建設仮勘定を合計した金額ですが、該当ありません。

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位: 百万円)

区 分	平成23年度第1四半期会計期間末					平成22年度末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
				差 益	差 損				差 益	差 損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	352,694	370,627	17,932	19,053	1,120	345,568	358,778	13,209	13,849	640
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の有価証券	132,689	138,420	5,731	5,907	175	124,556	128,120	3,563	3,761	197
公 社 債	130,061	135,799	5,738	5,827	89	123,925	127,508	3,582	3,705	122
株 式	243	303	59	60	1	243	300	56	56	-
外 国 証 券	1,384	1,304	80	4	85	387	311	75	-	75
公 社 債	1,384	1,304	80	4	85	387	311	75	-	75
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	999	1,013	14	14	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	485,384	509,048	23,664	24,961	1,296	470,125	486,898	16,773	17,611	838
公 社 債	480,147	503,668	23,521	24,728	1,206	466,834	483,501	16,667	17,423	756
株 式	243	303	59	60	1	243	300	56	56	-
外 国 証 券	3,993	4,062	68	157	88	3,047	3,096	49	131	82
公 社 債	3,993	4,062	68	157	88	3,047	3,096	49	131	82
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	999	1,013	14	14	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 本表は、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等も対象としています。
2. 金銭の信託については、該当ありません。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は保有していません。

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	平成23年度 第1四半期会計期間末 (平成23年6月30日現在)	平成22年度末 要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)
	金額	金額
(資産の部)		
現金及び預貯金	4,199	5,293
コール口座	399	554
買現先勘定	7,297	11,095
債券貸借取引支払保証金	23,755	26,535
有価証券	491,115	473,688
(うち国債)	(350,841)	(330,078)
(うち地方債)	(30,097)	(30,754)
(うち社債)	(104,945)	(109,584)
(うち株式)	(303)	(300)
(うち外国証券)	(3,913)	(2,971)
貸付金	12,929	12,901
保険約款貸付金	12,929	12,901
有形固定資産	533	494
無形固定資産	1,482	1,610
代理店貸	62	55
再保険貸	178	616
その他の資産	10,740	9,937
繰延税金資産	3,834	4,620
貸倒引当金	49	49
資産の部合計	556,481	547,354
(負債の部)		
保険契約準備金	494,942	482,219
支払準備金	4,318	4,877
責任準備金	487,302	473,764
契約者配当準備金	3,322	3,577
代理店借	1,226	1,399
再保険借	84	218
その他の負債	25,691	29,627
債券貸借取引受入担保金	24,154	27,089
資産除去債務	13	13
その他の負債	1,523	2,524
退職給付引当金	259	242
役員退職慰労引当金	11	25
特別法上の準備金	682	656
価格変動準備金	682	656
負債の部合計	522,898	514,389
(純資産の部)		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	473	473
資本準備金	473	473
利益剰余金	547	217
利益準備金	12	12
その他利益剰余金	559	205
繰越利益剰余金	559	205
株主資本合計	29,926	30,691
その他有価証券評価差額金	3,656	2,273
評価・換算差額等合計	3,656	2,273
純資産の部合計	33,582	32,964
負債及び純資産の部合計	556,481	547,354

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成22年度 第1四半期累計期間 〔平成22年4月1日から 平成22年6月30日まで〕	平成23年度 第1四半期累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		28,374	31,306
保 険 料 等 収 入		26,027	28,141
(うち保険料)	(25,618)	(28,066)
資 産 運 用 収 益		2,312	2,542
(うち利息及び配当金等収入)	(2,279)	(2,423)
(うち有価証券売却益)	(33)	(119)
そ の 他 経 常 収 益		34	623
(うち支払備金戻入額)	(-)	(559)
経 常 費 用		27,468	31,232
保 険 金 等 支 払 金		10,029	11,596
(うち保険金)	(2,997)	(3,648)
(うち年金)	(209)	(287)
(うち給付金)	(908)	(1,238)
(うち解約返戻金)	(5,503)	(6,142)
(うちその他返戻金)	(69)	(85)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		12,157	13,538
支 払 備 金 繰 入 額		380	-
責 任 準 備 金 繰 入 額		11,777	13,537
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		184	89
(うち支払利息)	(0)	(7)
(うち有価証券売却損)	(-)	(2)
(うち金融派生商品費用)	(1)	(-)
事 業 費		4,772	5,642
そ の 他 経 常 費 用		324	366
経 常 利 益		905	74
特 別 損 失		134	846
固 定 資 産 等 処 分 損		2	1
特 別 法 上 の 準 備 金 繰 入 額		23	25
価 格 変 動 準 備 金		23	25
そ の 他 特 別 損 失		108	819
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		710	400
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()		61	1,171
法 人 税 等		16	407
四半期純利益又は四半期純損失()		45	764

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

平成23年度第1四半期会計期間末

1. 四半期特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、主として、税引前四半期純損失に一時差異等に該当しない差異の金額が重要な場合にはその金額を加減した上で法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の貸借対照表価額は、22,451百万円であります。

3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首残高	3,577百万円
ロ. 当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	655百万円
ハ. 利息による増加等	0百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	400百万円
ホ. 当第1四半期会計期間末現在高	3,322百万円

4. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

平成23年度第1四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は、1,092円49銭であります。算定上の基礎である四半期純損失及び普通株式に係る四半期純損失はともに764百万円、普通株式の期中平均株式数は700千株であります。

なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純損失については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. その他特別損失は、三井住友海上きらめき生命保険株式会社との合併関連費用819百万円であります。

3. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成22年度 第1四半期累計期間	平成23年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	1,045	89
キャピタル収益	177	202
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	33	119
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	144	83
キャピタル費用	134	80
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	-	2
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	1	-
為替差損	133	77
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	43	121
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	1,088	211
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	182	137
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	133	137
個別貸倒引当金繰入額	48	0
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	182	137
経常利益 A + B + C	905	74

（注）その他キャピタル収益は全額、責任準備金繰入額のうち外貨建保険商品に係る責任準備金の為替変動による減少額であります。

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	平成23年度 第1四半期 会計期間末	平成22年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	79,688	77,149
資本金等	29,926	30,691
価格変動準備金	682	656
危険準備金	7,840	7,703
一般貸倒引当金	0	0
その他有価証券の評価差額 × 90% (マイナスの場合100%)	5,158	3,207
土地の含み損益 × 85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	34,383	33,439
持込資本金等	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	1,697	1,452
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	8,529	7,896
保険リスク相当額 R ₁	4,956	4,893
第三分野保険の保険リスク相当額 R ₈	1,654	1,173
予定利率リスク相当額 R ₂	242	239
資産運用リスク相当額 R ₃	4,586	4,469
経営管理リスク相当額 R ₄	343	215
最低保証リスク相当額 R ₇	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,868.5%	1,954.1%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

<参考> 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	平成23年度 第1四半期 会計期間末	平成22年度末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	574,413	560,564
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	477,415	471,167
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	96,998	89,396
満期保有債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	17,932	13,209
実質資産負債差額 B (3) - (4)	79,065	76,186

(注) 「実質資産負債差額 B」は、「実質資産負債差額 A」から満期保有債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を除外したものであり、実質資産負債差額の算出方法を定めた「保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令」第3条および「平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号」の規定に加えて「保険会社向けの総合的な監督指針 - 2 - 2 - 6」に基づき算出しています。

なお、当社は上表の各期間末において満期保有債券は保有しておりません。また、責任準備金対応債券の残高は3頁に記載しております。

(参考) 新基準によるソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成23年度 第1四半期 会計期間末	平成22年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	78,492	75,953
資本金等	29,926	30,691
価格変動準備金	682	656
危険準備金	7,840	7,703
一般貸倒引当金	0	0
其他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	5,158	3,207
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	34,383	33,439
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
持込資本金等	-	-
控除項目	-	-
その他	501	256
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	10,985	10,367
保険リスク相当額 R ₁	4,956	4,893
第三分野保険の保険リスク相当額 R ₈	1,654	1,173
予定利率リスク相当額 R ₂	915	910
資産運用リスク相当額 R ₃	7,294	7,144
経営管理リスク相当額 R ₄	444	282
最低保証リスク相当額 R ₇	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,429.0%	1,465.2%

(注) 平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額及びリスクの合計額の算出基準について一部変更(マージン算入の厳格化、リスク計測の厳格化・精緻化等)がなされております。当該変更は平成23年度末から適用されます。上記は、仮に当該変更を平成22年度末及び平成23年度第1四半期会計期間末に適用したと仮定した場合の数値です。

7．特別勘定の状況

該当ありません。

8．保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

(参考)証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

該当ありません。